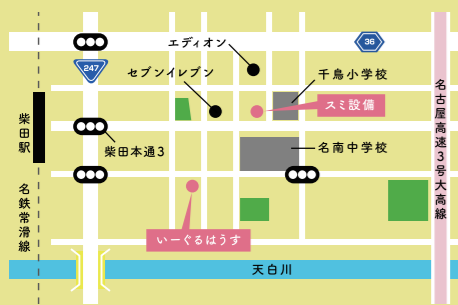


SUM  
USERS  
MANUAL

# スミの トリセツ トクヤク マニュアル

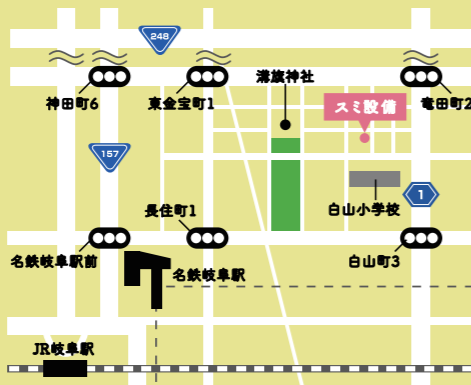
## 本社

〒457-0805  
名古屋市南区三吉町5丁目31番地  
TEL 052-612-4555  
FAX 052-612-9011



## 岐阜営業所

〒500-8171  
岐阜県岐阜市高森町3丁目5番地4



## 三重営業所

〒511-0065  
三重県桑名市大央町48-1 コート・エル3F

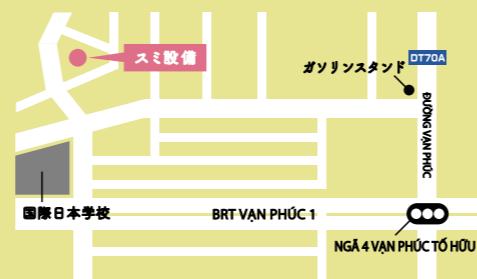


企業主導型保育施設 いーぐるはうす  
**eagle HOUSE**  
sumi.tcp.jp/eaglehouse

〒457-0805  
名古屋市南区三吉町 3-82 2F  
TEL 052-883-8477  
FAX 052-883-8478

## ベトナム駐在所

Hanoi市 Ha Dong区 Van Phuc 地区  
Van Phuc 新都市区 シムコソングビル 502号室



 スミ設備  
sumi.tcp.jp

# 目次

P3 ご挨拶

P4 会社概要

P5-6 沿革

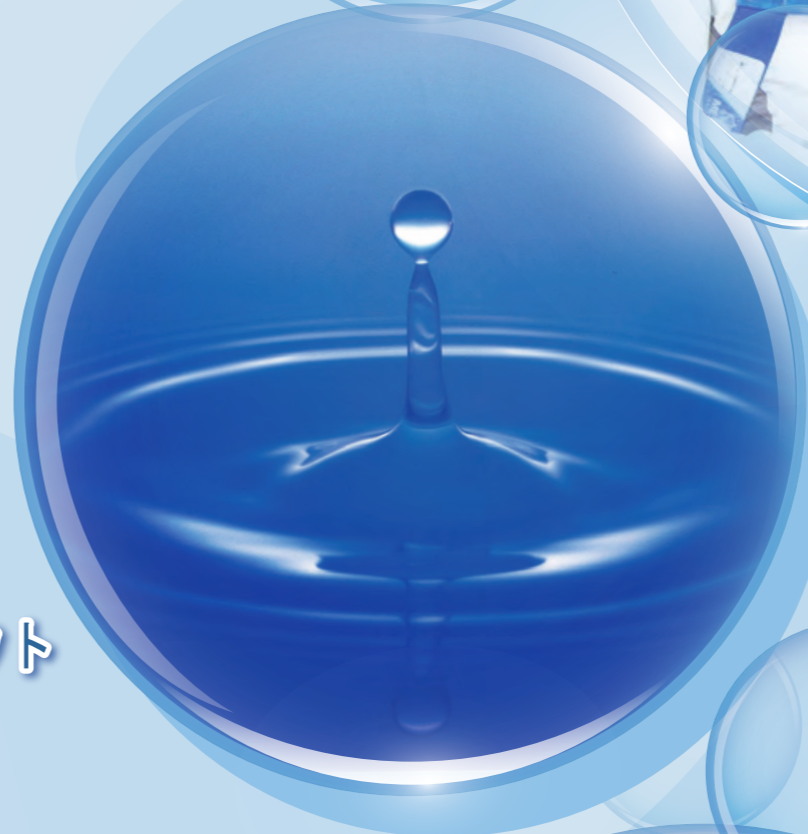
P7-8 業務内容

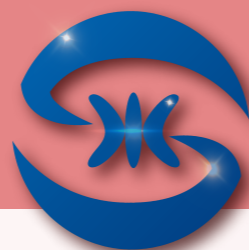
P9-10 スミ設備グローバルプロジェクト

P11 求人採用

P12 社内保育所

P13-14 社会貢献活動





戦後間もない昭和21年に、私の祖父・鷺見米吉が「鷺見水道工事店」を開業して以来、弊社は「人との付き合いを大事にする」という社訓を代々引き継いで参りました。

また私の父・鷺見利幸は、平成19年より社会貢献の一環として、名古屋の原水である木曾川源流の里・木祖村で緑化活動を開始しました。現在も、夏には村でとうもろこしを作り収穫するなどの活動を続けています。

弊社では、私たちの生活と環境保護を両立させるため、未来の子孫のために「水道事業に従事している人間が水源を守る」をモットーとして、この活動を一日でも長く続けていきたいと考えております。また同時に、緑化活動により社員の感受性を高めると同時に、情熱溢れる使命感を育て、常に率先して行動する意識の向上を図っています。

今後は、そんな向上心豊かな社員と一丸となり、今までの歴史を顧み原点に立ち返りながらも、新しい実のある未来を設計する会社にならなければならないと考えております。社是である「技術と信頼」を基に、更なる技術向上と、常に信頼される会社づくりに努めながら、建設業界の中で新しい風を吹かせられるよう日々精進致します。これからも引き続き、微力ながらも、みなさまの快適な生活と、水源を守っていく覚悟でございますので、さらなるご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



代表取締役

3代目経営者  
鷺見 康雄



2代目経営者  
鷺見 利幸



創業者  
鷺見 米吉

代表取締役 鷺見 康雄

## スミ設備の5ヶ条

お客さまと社会へのお約束

1. 水道事業における
2. 未来設計にたずさわ
3. 生活と自然の両立のため
4. 常に考え行動し
5. 美意識を高く持ち 社会貢献に取り組む



全員の顔が見える会社だから、全員が責任を持って仕事をしています。

<p><b>社名</b> 株式会社スミ設備</p> <p><b>代表者</b> 代表取締役 鷺見 康雄</p> <p><b>本社所在地</b> 〒457-0805 名古屋市南区三吉町5-31</p> <p><b>営業種目</b> 給排水・衛生・空調・設備工事</p> <p><b>資本金</b> 3,200万円</p> <p><b>創業</b> 1946(昭和21)年10月19日</p> <p><b>設立</b> 1977(昭和52)年5月14日</p> <p><b>役員</b>                  総務取締役 鷺見 律子                  経理取締役 伊奈 勝利                  取締役工事部長 村松 進                  取締役工事次長 牛永 具宏                  監査役 武井 一男(税理士)                  監査役 中山 信義(弁護士)</p> <p><b>営業許可</b>                  管工事業 愛知県知事許可(特-29)第24195号                  電気工事業 愛知県知事許可(般-29)第24195号                  名古屋市水道局指定給水装置工事業者 第189号                  名古屋市下水道局指定工事店 第189号</p>	<p><b>主要取引先</b>                  株式会社鍛冶田工務店、佐藤工業株式会社、                  大末建設株式会社、大鉄工業株式会社、                  大日本土木株式会社、宝建設株式会社、                  TSUCHIYA株式会社、鉄建建設株式会社、                  東洋建設株式会社、日本建設株式会社、                  株式会社長谷工コーポレーション、                  名工建設株式会社、村中建設株式会社、                  矢作建設工業株式会社                  (50音順)</p> <p><b>取引銀行</b>                  愛知銀行、大垣共立銀行、十六銀行、                  中京銀行、名古屋銀行、百五銀行、                  三菱UFJ銀行                  (50音順)</p>
--	--

## スミ設備の歌 「流転」

作詞・2代目 鷺見利幸

1  
愛知名古屋の南の地  
身を起こしての築城は  
会社勤めの素人よ  
これから苦勞の始まりも  
いとわず進む主(あるじ)なり

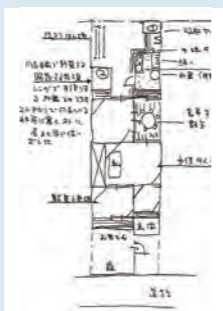
2  
城を大きくするごとく  
伊勢湾台風はねのけて  
オイルショックに立ち向かい  
まだまだ苦勞の連続も  
突き進みたる主なり

3  
恩義情けを忘れずに  
あゆみ信頼 城守り  
誇れる技術を糧にして  
次なる苦勞も乗り越えて  
進むは根性3代目





## 「鷺見水道工事店」個人営業にて創業



創業者・鷺見米吉は、岐阜県郡上八幡の出身。口減らしのために幼少時に北海道へ貰われていったが、成長後に愛知県へ戻った。東邦電力（現中部電力）、大同製鋼（現大同特殊鋼）に勤務した後、満洲へ出征。終戦後に知人たちとの付き合いを活かし、水道工事店を創業。スミ設備の歴史は、ここから始まる。

▲創業当時の店兼住居  
創業当時は細い敷地の店舗兼住居で、収入確保のため駄菓子販売も同時に行っていた。

## 「有限会社スミ水道工事店」設立

会社組織としての姿が整ったのが1966(昭和41)年。この年に「有限会社スミ水道工事店」設立。設立日の4月1日を創業記念日と定めた。その後、1972(昭和47)年に「有限会社スミ設備」へ商号を変更し、1977(昭和52)年には「株式会社スミ設備」へと変わり、現在に至る。



## 初の外国人実習生を採用



ベトナムまで面接に行き、2名の実習生を採用。初代実習生はヒエウとクイの両氏。働きながら、高度な技術をじっくりと習得できる体制を構築した。今後は実習生が帰国後も自国で働ける環境作りを計画。

## 岐阜営業所を岐阜市に開設



三重でのマンションバブルを経て、次は岐阜にも同じ波が来ると予測し、岐阜市高森町3-5-4に岐阜営業所を開設した。初代所長は大川原裕也。集合住宅の施工に特化した会社が少ない中、新天地でしっかりと地盤を固めたい。

## オリジナルグッズ作成



地元名古屋のスター・矢野きよ実氏の代表作である「無敵」の書をあしらった自社独自のマスクを作成。感染予防対策の観点から、地域貢献のツールとして活用。また、創業75周年のノベルティグッズとして記念ロゴ入りの名刺入れも作成。

## 旧社屋跡地に福利厚生施設を設置

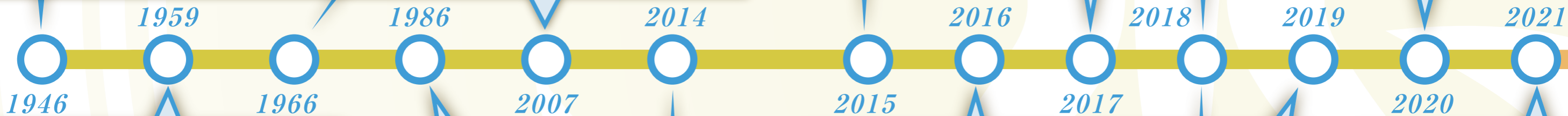
三吉町3-82の旧社屋跡地を有効利用するため福利厚生施設を建設。今後は社員寮などにも広く活用していく。

## 木祖村での植樹活動を開始

2代目経営者・鷺見利幸は、木祖村の小学生をホームステイ先として引き受けたことをきっかけに、木曾川の源流である木祖村との交流を開始した。「自分たちが飲む水道水の源である村の環境を守りたい」との思いが出发点だった。



社員はもとより協力会社の応援も得て、植樹ボランティアや寄付金活動を開始した。



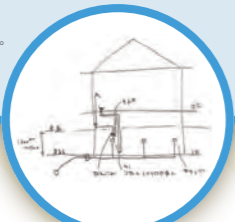
## 伊勢湾台風により大きな影響を受ける

名古屋市南部の被害は甚大で、街はほとんど水に浸かった。右の写真は、鷺見水道工事店の屋根から撮影した被災当時の街の様子。道が川となって、そこに流木や建材が貯まり、住民が取り残されている様子が見える。鷺見米吉らは、自店の復旧は後回しにして、まずいかだを借りて、周辺の店舗や住居の水道修理をして回った。(左の写真)



伊勢湾台風は9月26日に潮岬に上陸。明治以降最多の死者・行方不明者5,098名を出した。

被害復旧水道工事の覚書▶



## 本社を南区三吉町3-82へ移設

2階建の社屋を新築。当時は1階を倉庫、2階を事務所として使用しており、社員は10名ほどだった。電気工事や衛生・空調工事など、設備工事全般を請け負う会社へ成長していった。



## 南区三吉町5-31に社屋を移転

元々は印刷会社だった建物を購入しリノベーション。ゆとりある3階建の社屋で、屋上からは名古屋港の花火も見物できるため、合わせてBBQ大会を実施するなど、働き心地向上にも配慮している。



## 初の営業所を三重県桑名市に開設



お客さまからの要望に応え、初めての営業所を桑名市大中央町48-1に開設した。初代所長は増本順幸。

## ベトナムに駐在事務所を開所

技能実習1期生がベトナムに帰国することを機に、まずはCADセンターを担う形で、ベトナム・ハノイに駐在所を設立。



## テレビCM放送



スミ設備史上初のテレビコマーシャル。新しい生活様式への変遷に伴い、新しい営業・広告活動を積極的に取り入れ始める。

## 社内保育所開園

女性の活躍推進をバックアップするには、地域ぐるみで待機児童を軽減することが必要。そこでスミ設備は近隣の各社ともタッグを組み、独自の企業主導型保育施設「いーぐるはうす」を開園。

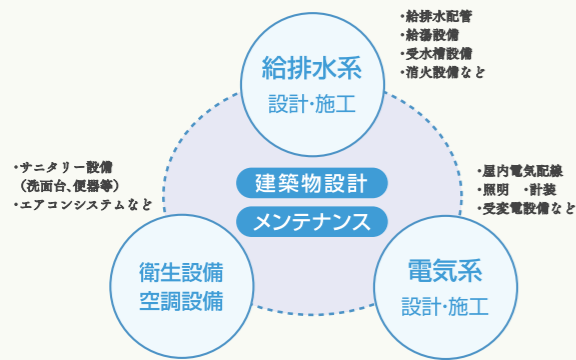




## 1 設計

機能面から建物をつくります

給排水や電気は建物に必須の機能。だからこそ問題も発生しがちです。私たちは専門家として、あらかじめトラブルを防止できる設計や施工方法をご提案します。



## 2 施工

面倒な仕様や厳しいチェックもお任せください

我々を鍛えてくれたのは、とあるお客様です。難しい課題と厳しい点検、10年20年と挑んできた手応えが自信を育ててくれました。だからスミは難題「大歓迎」です。



施工状況はその都度、厳しくチェック。疑問点はその日のうちに解決するよう努めています。

## 3 提案

トラブル発生を設計段階から防止

設備づくりで大切なのは建物とのマッチング。しかしこの構造では配管に無理が出る。水漏れの原因になる。そんな箇所を抽出し、時には設計改善もご提案します。



継手を減らし水漏れの原因をなくす。配水管の選択で排水音を低減する等々、建物の付加価値をあげる提案を行います。

## 75年以上の歴史と実績

スミ設備の創業は1946年。戦後間もない焼け跡から裸一貫で始まった歴史は、名古屋経済圏の歩みそのもの。これからは私たちは確かな設備・建物づくりで地元発展に寄与して参ります。



## 技術を磨く会議・勉強会を定期開催

日々の業務に注意を払うのはもちろんのこと、トラブル発生時にはすぐに対策を講じ、またその内容を全社会議で報告相談。全員が業務改善に参加し、最新ノウハウを共有する体制をとっています。



## 4 保証

長く愛される建物を目指します

使う人・住まう人がいて、初めて建物の本当の価値は生まれるもの。だからこそ私たちは竣工から数十年を経たのち、より魅力が増す建物づくりをめざします。

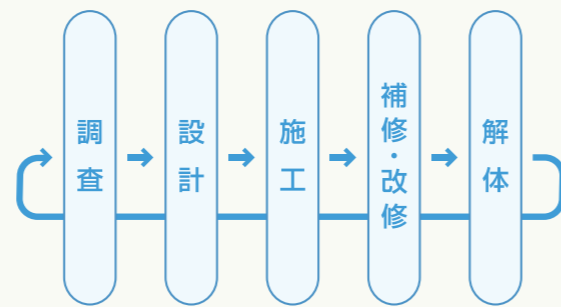


パイプ1本、配線1本ごとに、数十年後の姿をシミュレートしながら設計施工を行っています。

## 5 循環

土地調査から解体まで、建物をライフサイクルで考えています

建設費用を抑えても、竣工後に問題が多発するようでは総コストは赤字。私たちは建物を調査から解体までの流れで考え、最適コスト・工程をご提案します。

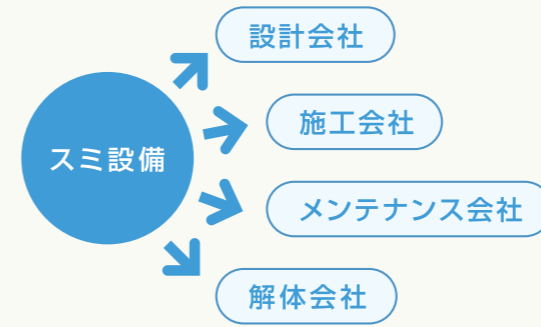


数十年のスパンで必要となる作業・時期をあらかじめ想定。だから無駄や無理がありません。

## 6 体制

広い協力会社網で、あらゆる案件に対応します

じっくり取り組む大規模建築から短期集中型の小型店舗まで。スミ設備は100社以上の協力会社網を活かし、それぞれ最適な人材選抜とチームづくりを行っています。



自分ですべて抱え込むより、専門分野は専門家に任せる。ただし管理・点検・責任はすべて引き受ける。これがスミ設備の基本姿勢です。

## 名古屋城本丸御殿復元工事に参加

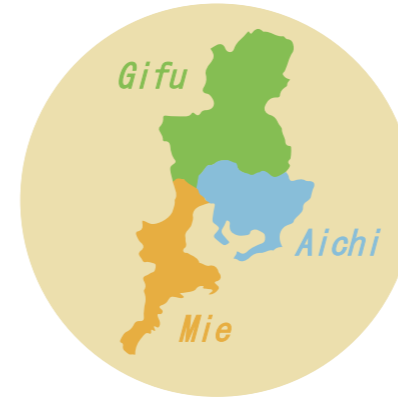
2009年に始まり2018年に完成した名古屋城本丸御殿復元工事に参加。歴史的文化価値を有する建物の再現のため、機械設備の立場から復元事業に参加。地元名古屋の観光PRにも貢献しています。



## みんなのやる気を引き出す工夫

スミ設備では毎年、優秀社員や協力会社スタッフを表彰。特注ヘルメットの贈呈などを通じてやる気向上を図り、プライドを持ち自分の仕事に取り組む気風を、全社に広げる工夫を続けています。





**本社**  
〒457-0805  
名古屋南区三吉町  
5丁目31番地



**岐阜営業所**  
〒500-8171  
岐阜県岐阜市高森町  
3丁目5番地4



**三重営業所**  
〒511-0065  
三重県桑名市大中央  
48-1 コート・エル3F

## スミ設備は これから先ももっともっと グローバルに。

ベトナムは国民の平均年齢が30代前半と若く、親日国家としても知られています。そんな活気あふれる東南アジアの拠点に、スミ設備は10年先・20年先を見据えたグローバルプロジェクトの一環として、駐在事務所を開所いたしました。日本での業務をベトナムで行うことにより、残業時間や休日出勤の減少といった日本での働き方改革を推し進めるとともに、ベトナムへの技術移転や雇用創出など国際貢献を推進。さらにはBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)の普及も視野に入れたデータ入力業務を実施しています。BIMの入力には、施工上の納まり、CADソフト操作スキルなど高い技術と知識が求められるため、駐在事務所にてBIM対応ソフトをいち早く導入。教育指導にも注力しながら、BIMの入力作業に対応できる体制を整え、ゆくゆくはベトナム国内での図面作図業務、工事の施工受注ができるよう取り組みを進めています。

### ベトナム駐在事務所・ハノイ

2018年9月にベトナムの首都ハノイに駐在事務所を開所。技能実習生として来日したベトナム人の経験者2名を中心に、施工図の作図を担当するCADセンターがスタートしました。本社と連携してクラウド上でのデータのやり取りやWEB会議で打ち合わせを行いながら、日々業務を進めています。また現地に社長らが足を運び、勉強会の実施など人材育成に努めるとともに、工事現場の見学や現地情報の収集、現地業者との交流なども図っています。

### 業界に先駆け、BIM化を推進

建設設備専用3D CADソフトを活用し、施工図作成ならびにBIMに対応。調書・積算(拾い)の補助など、ベトナムから日本の業務をサポートします。本社とベトナム駐在事務所が力を合わせてBIM化完全対応に取り組み、設備業でのBIMの先駆者となるべく、次代の環境づくりを目指します。さらに今後ベトナムの経済が発展し、建設業が活性化した暁には、現地法人化の上で工事も受注できる体制を整えていきます。



技能実習生時代の  
メッセージ





## スミ設備社員が思う職場の雰囲気

- コミュニケーションが取りやすい
- 個性豊かな人材が多い
- 経営者と距離が近い
- 成長スピードが速い
- やりがいのある仕事
- アットホームな会社
- 任される裁量権が多い
- 仕事に対して真面目でプロ意識が高い
- 平均年齢が若い



スミ設備は、スポーツに燃えるあなたを待っています!

**スミ設備スポーツ情熱採用**



**バディ制度があるから業界未経験でも安心!**

未経験者でも安心して仕事が覚えられるように、現場管理の仕事は最低二人一組で行うバディ制度を取り入れています。



**求める人材**

建設業＝理系ないし男社会というイメージが強いですが、現在管理職に就いている社員は異業種からの転職者も多く、文系でも女性でも問題なく活躍できる環境があります。

## 夢への挑戦、子育て...。仕事との両立に悩んでいるアナタ必見!

アスリート社員大募集中です!



スミ設備ではユニークな採用制度・福利厚生がいろいろ! 夢にむけて挑戦するアスリートや、結婚・子育てをしながらもずっと安心して働ける職場づくりをすすめています。そんなスミ設備社員の日を動画で覗いてみませんか? 気になる動画のQRコードをスキャンして、今すぐチェック!

『スポーツ情熱採用』のCM動画は、こちらのQRコードからジャンプ!



## いーぐるはうす eagle HOUSE

### いーぐるはうすとは...

「いーぐるはうす」は、地域貢献・女性活躍推進働き方改革・少子化対策に対し、スミ設備ができる社会貢献と位置づけ、開園いたしました。



- 1. 朝の送迎・お仕事後のお迎えがスムーズ**  
職場からいーぐるはうすまでの距離が近いので、時間のない朝でもスムーズにお預けができます。もちろんお迎えも仕事後にすぐに行けるので、お子様にとっても安心です。
- 2. 保育スタッフの配置が手厚い**  
一般の幼稚園・保育園に比べ、いーぐるはうすでは、保育スタッフの配置が手厚くなります。お子様一人ひとりの状態や発達に合わせた保育計画を策定し、お子様たちの成長を見守ります。
- 3. 急な発熱などの緊急時でも安心**  
急な発熱などの場合、いーぐるはうすでは、ご連絡後、保護者様がお迎えに来られる時間まで保育いたします。

## ユニークな福利厚生いろいろ♡働くママ社員の日

地域づくりに貢献し、働くママ・パパを応援したいという想いから、スミ設備では2019年に保育所「いーぐるはうす」を開業。職場から距離が近いため送り迎えにも便利、毎日安心して仕事にのぞめます。産休・育休制度のほか、仕事帰りのマッサージやゴルフレッスン、ボクササイズなどユニークな福利厚生も魅力です。

『働くママ社員の日』の動画は、こちらのQRコードからジャンプ!



子どもがいても安心です!





## 木祖村との交流

わたしたちは  
木曾川の源流、長野県 木祖村で  
水源を守る活動を続けています



### 白水小学校のミニ雪まつり

#### 木祖村から雪を運び 子どもたちに滑り台をプレゼント

子どもたちに水の大切さを学んでもらうため、毎年長野県の山間部に降った雪をトラックに積み込んで、名古屋市南区の白水小学校へ直送し、真冬の滑り台をつくっています。

この雪が溶けて水になり、木曾川を通じて、子どもたちの家の蛇口から水が出るという内容で、特別授業を実施しております。これもまた水源の村と名古屋で、両方の気持ちをつなぐ、交流活動の一環となっています。



### ●大切な水を守り、恩返しするために

長野県 木祖村の小学生が、名古屋でホームステイ学習をすることになりました。その受け入れ先を、2代目経営者の鷲見利率が引き受けたことから、スミ設備と木祖村の交流が始まりました。

木祖村は、木曾川の源流にある村です。日々自分たちが施工している名古屋市上水道の水は、この子どもたちが住む村からやってくる——そんな知識が、小学生たちと出会ったことで、リアルな現実が変わりました。そこから「水を使い、汚すだけでは申し訳ない、源流の村に恩返しをしたい」という気持ちが生まれました。水道業に従事している人間が、水源を守る。この決意から、スミ設備の活動が始まりました。

### ●自分の感性を磨き、育てるために

いま「上流域木曾」の森林は荒廃が進み、十分に水を蓄える力がありません。そこで天然のダムをつくるために2007年から植樹活動を始めました。木は土砂の流出を防ぎ、生態系を守ります。スミ設備では多くのご支援・ご協力をいただきながら植樹ボランティアを中心に、木祖村と共に募金活動、イベント開催などを行って参りました。

この活動の目的は、環境保護だけではありません。私たち一人ひとりが、活動参加を通じて自然の力を体感し、日頃忘れがちな自然に感謝する感性を育てていくこと。これも水道業に従事するスミ設備の使命だと考えています。

活動10周年を記念したモニュメント ▶



### 国土交通省より表彰

#### 2017年国交省より 「水資源功績者」として表彰されました。

スミ設備は、2007年から多くの水道関係団体などに呼びかけ、木曾川源流での水源地域保全や地域振興活動に積極的に取り組んでまいりました。その結果が認められ、2017年8月、国土交通省より「平成29年度水資源功績者表彰」を受けることができました。

